

「最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出伸び率再びプラス～」

平成30年10月の機械輸出額は4兆6,611億円、対前年同月比7.7%増と、再びプラスとなった。これは、① 韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラスだったこと、② 自動車、産業機械をはじめ17輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.9%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.8%増となった。平成30年11月の為替・営業日要因は4.6%の増加寄与要因となっているが、12月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では、11月の機械輸出は0.9%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:7兆2,439億円(前年同月比 [以下同じ] 8.2%増、再びプラス)
- ② 全商品輸入額:7兆6,940億円(19.9%増、7ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:4,501億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆6,611億円(7.7%増、再びプラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.8%増(3ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆4,603億円(15.0%増、再びプラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年10月に4.9%の増加要因、11月に4.6%の増加要因、12月に5.6%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:9.1%増、再びプラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:8.1%増、8ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:10.0%増、23ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:5.0%増、再びプラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:6.7%減、9ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:14.4%増、再びプラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中17業種がプラス。そのうち9業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 発電機(北米向け中心)、TV(北米、EU、中国向け中心)、鉄道車両(EU向け中心)、航空機(北米向け中心)、原動力機械(ASEAN・南アジア、中国向け中心)等が大きくプラス
- ② 陸用内燃機関(北米、EU、中国向け中心、3ヶ月連続上位)、船舶(その他地域向け中心、3ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ③ 通信機械部分品、産業用ロボット等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、11機種がプラス
- ② そのうち電子デバイス、航空機・部品等、自動車部品等8機種が二桁以上のプラス

II トピックス

1. 【中国】自動車販売が大幅に減少。各メーカーは NEV 規制への対応を強化

2018年10月の中国における新車販売台数は、前年同月比11.7%減の238万100台と大幅に落ち込んだ。4カ月連続の前年割れとなった。これにより、1-10月の累計販売台数は前年同期比0.1%減とマイナス成長になった（一方、EVなど新エネルギー車（NEV）の1-10月の販売台数は、前年同期比91%増の72万6,000台と大幅に増加した）。

経済成長の鈍化や自動車優遇税の廃止の影響が出た（2018年第3四半期のGDPは前年同期比6.5%増となり、2期連続で減速）。一方、落ち込みは一時的であり、世界最大の中国自動車市場は、今後も成長を続けるとの楽観論も根強い。

中国では、2019年に一定のEVなどの生産・販売を義務づける「NEV規制」が始まり、各社とも対応を急いでいる。EV市場のシェアで1位のBYD（比亞迪）は、このほど多目的スポーツ車（SUV）「唐EV」を発表した。長城汽車は、独BMWと「光束汽車」を設立する。

また、EV新興メーカーの動きも活発である。テンセントが出資し、注目を集める上海蔚来汽車（NIO）は、EVのSUV「es8」を本格発売する（生産は安徽江淮汽車に委託）。

2. 【韓国】半導体部門が好調でサムスンが増益。折り畳み式スマホ発売へ

韓国サムスンの2018年第3四半期（7-9月期）は、営業利益が前年同期比21%増の17兆5,700億ウォンとなった。売上高は、2018年12月期に最高益を更新するとみられる。

同四半期の部門別業績については、主力の「半導体」部門は、営業利益が前年同期比37%増の13兆6,500億ウォンと好調で業績をけん引した。ただし、中国勢との競争激化から設備投資をやや減少・0

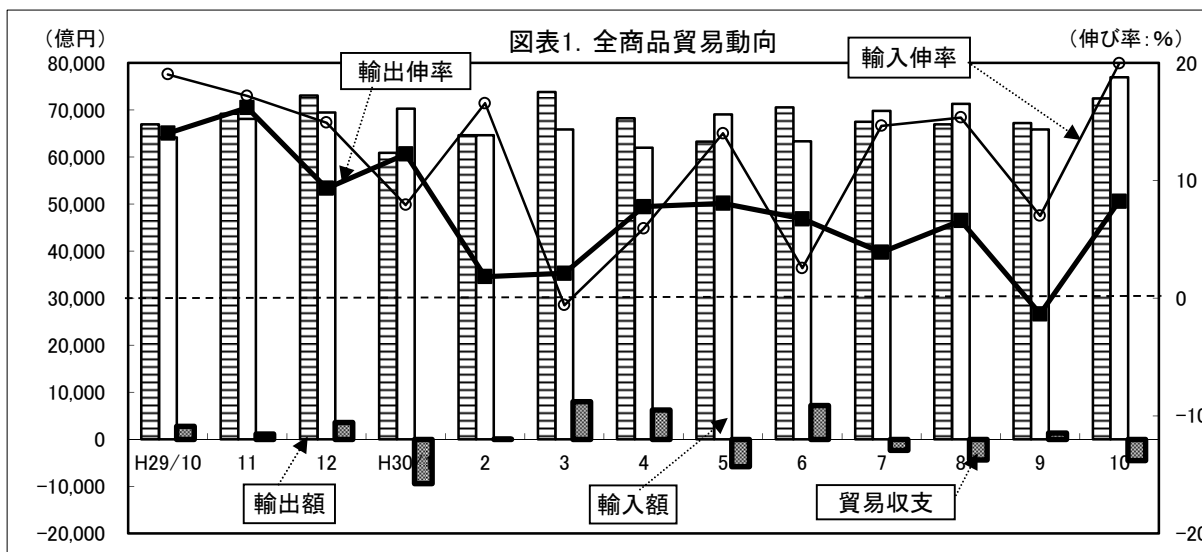
させる。有機ELパネルの「ディスプレイ」部門の営業利益は、前年同期比13%増の1兆1,000億ウォンにとどまった。米アップルは、依然としてiPhoneに液晶パネルを採用していることもあって、予想されたほど有機ELパネルの販売増加にはならなかった。家電部門の営業利益は微増にとどまった。

スマホなどの「モバイル」部門の営業利益は、前年同期比33%減の2兆2,200億ウォンと低迷した（第3四半期の出荷台数は13%減となったが、グローバル市場でのシェアは20%で首位を保っている）。また同社は、このほど画面を折り畳むことができるスマホ向け有機ELディスプレイを初めて公開した。「フォルダブル」と呼ばれる折り畳み式スマホは、成長が鈍化するスマホ市場の起爆剤になりうると期待されている。中国の新興メーカー柔宇科技や華為技術も「フォルダブル」スマホの発売を予定している。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は再びプラス、輸入は7ヶ月連続プラス～

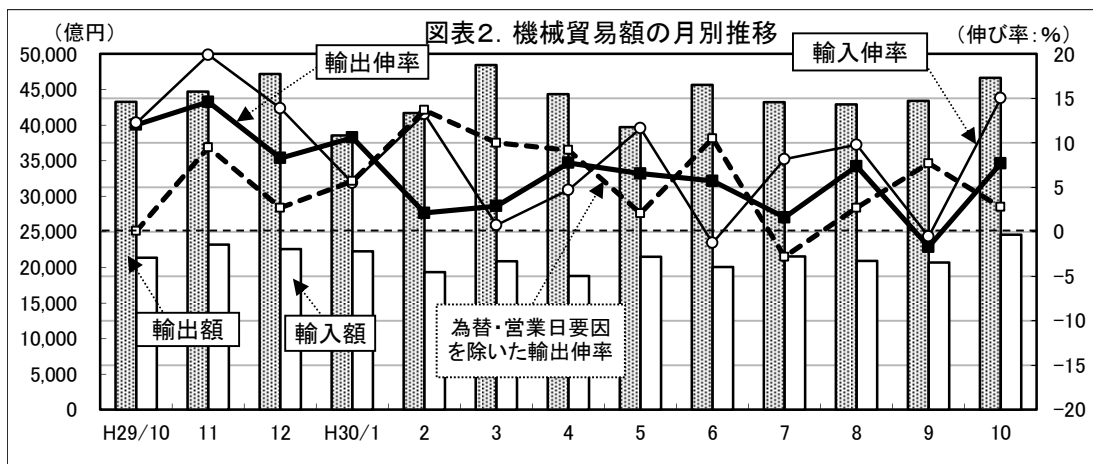
- 1) 平成30年10月の全商品輸出額は**7兆2,439億円**、前年同月比(以下同じ)**8.2%増**と再びプラスとなった(9月1.3%減)。これは、全輸出額の約24%を占める輸送用機器(9.0%増)をはじめ、約18%の電気機器(8.2%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(9.2%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**7兆6,940億円**、**19.9%増**と7ヶ月連続でプラスとなった(9月7.0%増)。これは、全輸入額の約22%を占める原粗油等鉱物性燃料(36.3%増)をはじめ、約11%の医薬品等化学製品(24.2%増)、約9%の一般機械(28.1%増)、原料別製品(20.1%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約4,501億円の赤字(9月は1,313億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出、輸入ともに再びプラス～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める10月の機械輸出額は**4兆6,611億円**、**7.7%増**と再びプラスとなり(9月1.7%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年10月)と比べると**90.4%**となって、前月に比べて4.0ポイント改善した(9月86.4%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は2.8%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆4,603億円**、**15.0%増**と再びプラスとなり(9月0.5%減)、リーマンショック前(2007年10月)の水準に比べ、38.6%増となっている。

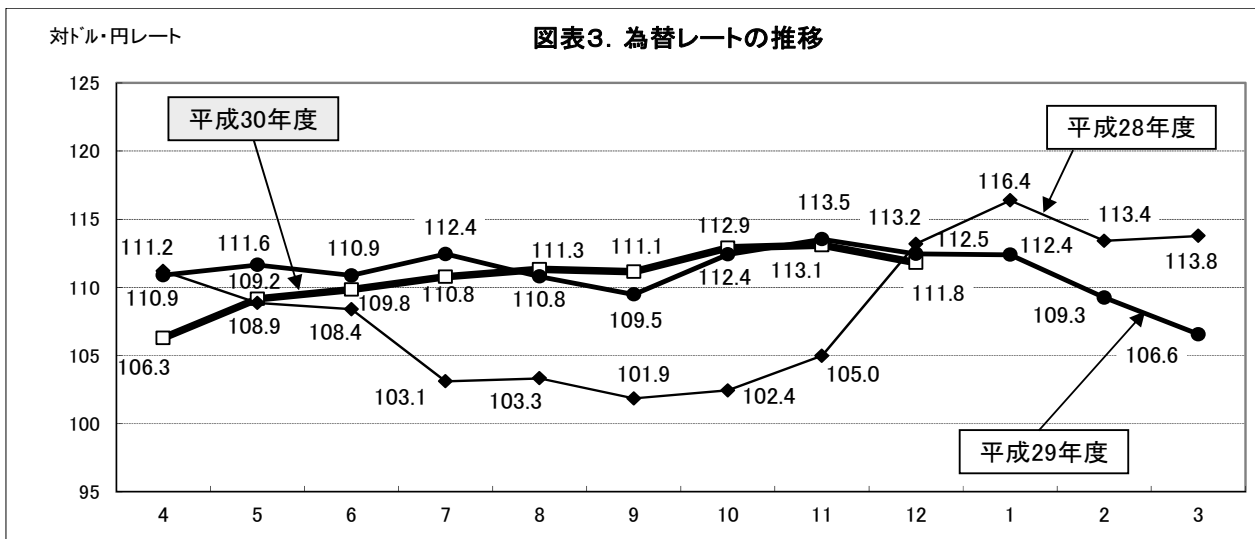


(2) 為替・営業日動向～10月は4.9%の増加要因、11月は4.6%の増加要因～

1) 2018年10月は1ドル=112.9円となり、前年に比べ0.4%の円高となった。また、対ユーロは131.0円と前年に対して1.5%の円高となり、合わせて約0.1%の為替増加要因となった。営業日は前年に対して1日多いため、約4.8%の増加要因となり、合計で約4.9%の増加要因となる。9月の輸出額は7.7%増であったことから、実質的伸び率は2.8%増と3ヶ月連続のプラスとなった(9月7.7%増)。

2) 2018年11月は1ドル=113.1円で前年比0.4%の円高、対ユーロは128.7円で前年比3.1%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約4.6%の増加要因となる。

3) 2018年12月は、対ドルが12月20日17:00時点の111.8円とすれば、0.6%の円高、また、対ユーロは127.6円で3.9%の円高となり、合わせて約0.6%の為替減少要因となる。営業日は前年に対して1日少ないため、5.0%の減少要因となり、合計で約5.6%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.9%を占める北米向けでは、全体の約50%を占める自動車(3.6%増)や産業機械(6.1%増)、航空機部品(33.6%増)がプラスとなり、9.1%増となった。②23.0%を占める中国向けでは、産業機械(7.6%増)、自動車(26.6%増)、電子デバイス(20.3%増)等が増加して8.1%増となり、③15.1%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(29.3%増)、インド(20.6%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(7.2%増)、産業機械(8.3%増)、電子デバイス(26.2%増)等がプラスとなって10.0%増となった。④12.1%を占めるEU向けは、約35%を占める自動車(1.4%増)をはじめ、産業機械(9.1%増)、理化学用機器等軽機械(15.0%増)等が増加して5.0%増となり、⑤8.8%を占める韓国・台湾向けは、自動車(4.0%増)が増加したものの、産業機械(10.6%減)、電子デバイス(11.9%減)等が減少して6.7%減となった。⑥16.1%のその他地域向けでは、アフリカ(32.4%増)、中南米(23.5%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、自動車(6.4%増)、船舶(74.7%増)、産業機械(25.0%増)等がプラスとなって14.4%増となった。

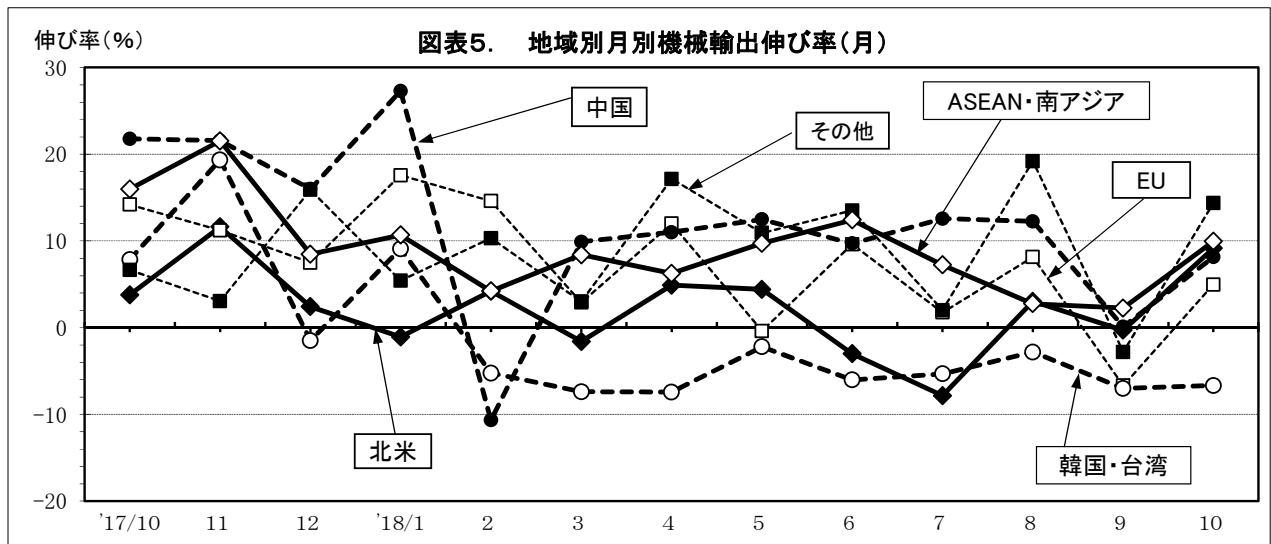
2) また、リーマンショック前の2007年10月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、北米向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

| | 2018/8 | | | 2018/9 | | | 2018/10 | | | 対07年 10月比 |
|------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|--------------|
| | 金額 | 伸び率 | シェア | 金額 | 伸び率 | シェア | 金額 | 伸び率 | シェア | |
| 全世界計 | 42,893 | 7.4 | 100.0 | 43,374 | ▲ 1.7 | 100.0 | 46,611 | 7.7 | 100.0 | 0.90 |
| 北米 | 10,154 | 3.0 | 23.7 | 10,787 | ▲ 0.3 | 24.9 | 11,591 | 9.1 | 24.9 | 0.88 |
| 中国 | 10,293 | 12.3 | 24.0 | 9,682 | 0.1 | 22.3 | 10,737 | 8.1 | 23.0 | 1.16 |
| ASEAN・南アジア | 6,505 | 2.8 | 15.2 | 6,797 | 2.3 | 15.7 | 7,049 | 10.0 | 15.1 | 1.14 |
| EU | 4,981 | 8.1 | 11.6 | 5,002 | ▲ 6.7 | 11.5 | 5,631 | 5.0 | 12.1 | 0.66 |
| 韓国・台湾 | 4,149 | ▲ 2.8 | 9.7 | 4,243 | ▲ 7.0 | 9.8 | 4,094 | ▲ 6.7 | 8.8 | 0.90 |
| その他 | 6,810 | 19.2 | 15.9 | 6,863 | ▲ 2.8 | 15.8 | 7,510 | 14.4 | 16.1 | 0.77 |

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

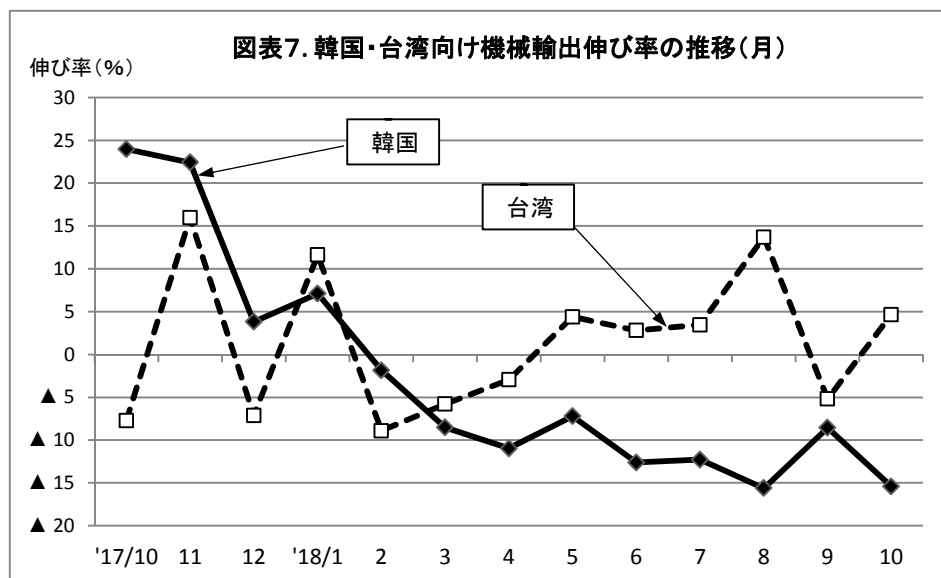


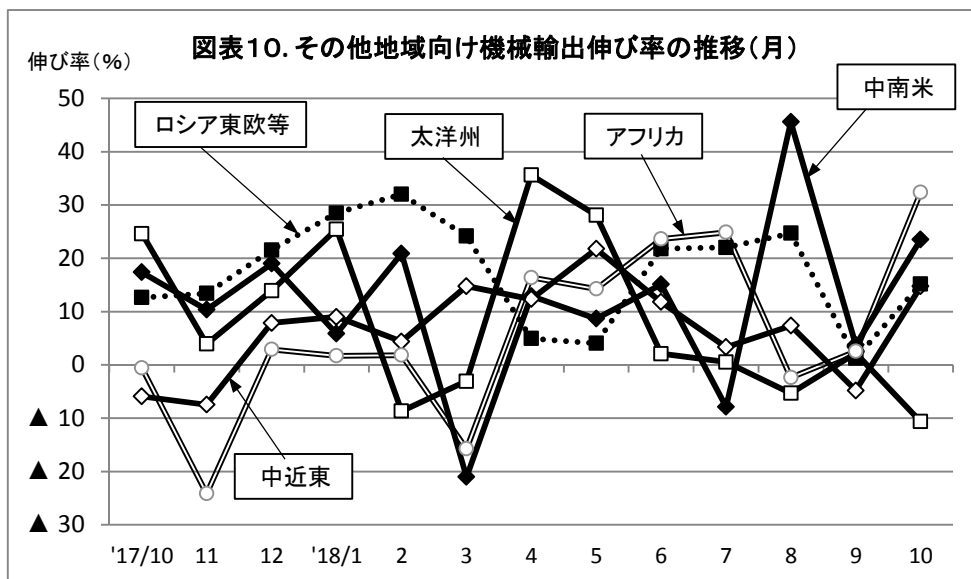
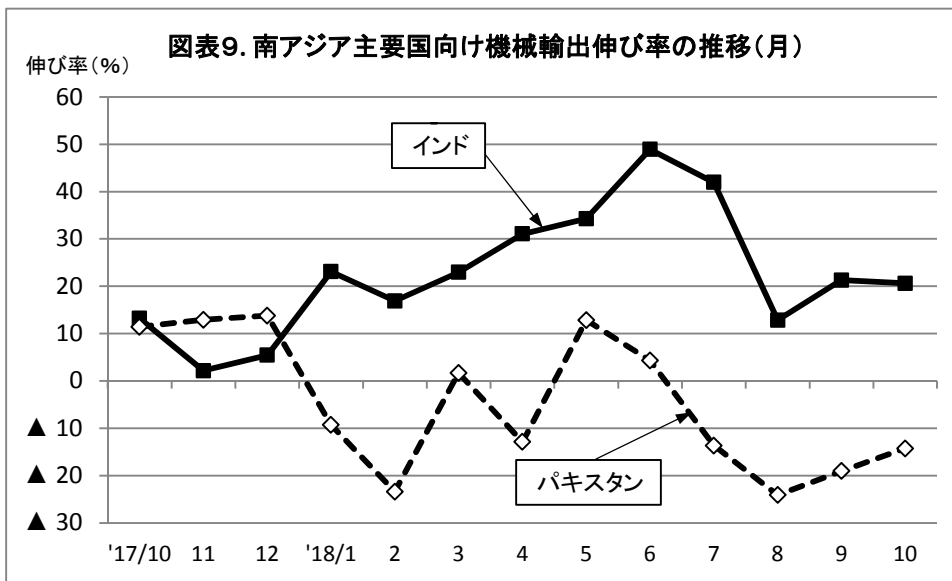
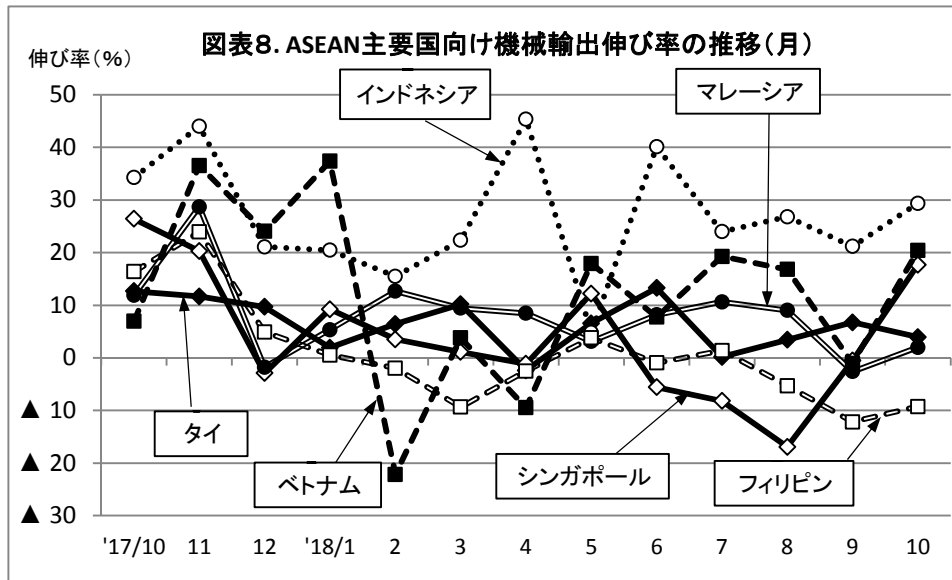
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

| 国名 | 2018/7 | | 2018/8 | | 2018/9 | | 2018/10 | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 |
| 韓国 | 2,200 | ▲ 12.3 | 2,028 | ▲ 15.6 | 2,250 | ▲ 8.6 | 2,094 | ▲ 15.4 |
| 台湾 | 2,050 | 3.5 | 2,121 | 13.7 | 1,993 | ▲ 5.2 | 2,000 | 4.6 |
| ASEAN・南アジア | | | | | | | | |
| タイ | 1,662 | 0.2 | 1,588 | 3.4 | 1,860 | 6.7 | 1,773 | 3.9 |
| シンガポール | 882 | ▲ 8.2 | 953 | ▲ 16.9 | 939 | ▲ 0.5 | 1,069 | 17.7 |
| インドネシア | 980 | 24.0 | 917 | 26.8 | 976 | 21.2 | 1,043 | 29.3 |
| マレーシア | 745 | 10.6 | 698 | 9.0 | 683 | ▲ 2.6 | 712 | 2.0 |
| フィリピン | 692 | 1.4 | 627 | ▲ 5.3 | 617 | ▲ 12.2 | 675 | ▲ 9.3 |
| ベトナム | 793 | 19.2 | 845 | 16.8 | 844 | ▲ 1.0 | 875 | 20.4 |
| インド | 574 | 41.9 | 529 | 12.8 | 504 | 21.3 | 506 | 20.6 |
| パキスタン | 146 | ▲ 13.7 | 130 | ▲ 24.1 | 151 | ▲ 19.0 | 150 | ▲ 14.3 |
| その他地域 | | | | | | | | |
| 中南米 | 2,084 | ▲ 7.9 | 2,364 | 45.6 | 2,269 | 3.7 | 2,570 | 23.5 |
| 中近東 | 1,409 | 3.3 | 1,513 | 7.3 | 1,727 | ▲ 4.8 | 1,896 | 14.7 |
| 大洋州 | 1,374 | ▲ 5.3 | 1,205 | 2.2 | 1,224 | ▲ 10.7 | 1,217 | ▲ 3.5 |
| ロシア東欧等 | 1,199 | 22.0 | 1,159 | 24.7 | 1,149 | 1.2 | 1,283 | 15.2 |
| アフリカ | 591 | 24.9 | 526 | ▲ 2.4 | 543 | 2.5 | 615 | 32.4 |

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 17業種がプラス。うち電子デバイス等 9業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、自動車(6.8%増)、産業機械(5.5%増)をはじめ 17業種がプラスとなり、前月に比べて 10業種増加した。そのうち、電子デバイス(10.4%増)、重電気機械(11.2%増)、船舶(25.0%増)をはじめ、9業種が二桁の伸びとなり、機械全体では 7.7%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械等 11業種となった(9月は 8業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が 30%台の低い水準にある。

図表 11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

| 2018/8 | | | 2018/9 | | | 2018/10 | | | 対07/10 比 |
|---------|--------|-------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|-------------|
| 業種名 | 金額 | 伸び率 | 業種名 | 金額 | 伸び率 | 業種名 | 金額 | 伸び率 | |
| 自動車 | 14,022 | 4.6 | 自動車 | 15,204 | ▲ 2.3 | 自動車 | 16,494 | 6.8 | 0.90 |
| 産業機械 | 8,167 | 11.9 | 産業機械 | 7,569 | ▲ 0.9 | 産業機械 | 8,045 | 5.5 | 1.12 |
| 電子デバイス | 3,645 | 3.8 | 電子デバイス | 3,470 | ▲ 1.9 | 電子デバイス | 3,803 | 10.4 | 0.83 |
| 軽電気機械 | 2,465 | 4.8 | 軽電気機械 | 2,546 | ▲ 1.7 | 軽電気機械 | 2,657 | 9.4 | 1.01 |
| 重電気機械 | 2,280 | 13.9 | 重電気機械 | 2,213 | ▲ 3.4 | 重電気機械 | 2,394 | 11.2 | 1.09 |
| 軽機械 | 1,695 | 3.0 | 軽機械 | 1,740 | 0.0 | 軽機械 | 1,843 | 9.0 | 1.32 |
| 民生用電子機械 | 1,514 | 5.1 | 民生用電子機械 | 1,564 | 0.1 | 民生用電子機械 | 1,639 | 9.1 | 0.39 |
| 船舶 | 1,436 | 37.3 | 船舶 | 1,362 | 11.5 | 船舶 | 1,445 | 25.0 | 0.77 |
| 光学機械 | 1,365 | ▲ 5.1 | 光学機械 | 1,323 | ▲ 4.6 | 建設機械 | 1,392 | 18.3 | 3.0 |
| 建設機械 | 1,222 | 28.4 | 建設機械 | 1,101 | ▲ 12.4 | 光学機械 | 1,292 | ▲ 6.6 | 2.8 |
| 工作機械 | 776 | ▲ 2.2 | 工作機械 | 854 | 10.7 | 航空機部品 | 953 | 32.4 | 2.0 |
| 航空機部品 | 666 | 0.6 | 航空機部品 | 752 | 7.2 | 工作機械 | 724 | ▲ 3.4 | 1.6 |
| 通信機械 | 587 | ▲ 6.9 | 通信機械 | 599 | ▲ 21.3 | 通信機械 | 612 | ▲ 17.1 | 1.3 |
| 医療機械 | 457 | 9.3 | 医療機械 | 547 | 8.0 | 医療機械 | 539 | 10.1 | 1.2 |
| 電子計算機 | 433 | ▲ 9.6 | 電子計算機 | 479 | ▲ 5.8 | 陸用内燃機関 | 501 | 28.2 | 1.1 |
| 陸用内燃機関 | 432 | 20.2 | 陸用内燃機関 | 449 | 12.8 | ベアリング | 467 | 9.8 | 1.0 |
| ベアリング | 401 | 3.3 | ベアリング | 405 | ▲ 6.1 | 電子計算機 | 437 | ▲ 7.3 | 0.9 |
| 鉄道車両 | 227 | 241.4 | 農業機械 | 199 | ▲ 1.3 | 繊維機械 | 248 | 6.2 | 0.5 |
| 繊維機械 | 207 | ▲ 1.5 | 繊維機械 | 176 | ▲ 16.2 | 農業機械 | 204 | 4.6 | 0.4 |
| 農業機械 | 163 | ▲ 4.5 | 産業車両 | 124 | ▲ 2.6 | 鉄道車両 | 151 | 34.0 | 0.3 |
| 産業車両 | 114 | 6.2 | 鉄道車両 | 94 | ▲ 3.5 | 産業車両 | 135 | 10.1 | 0.3 |
| 21業種合計 | 42,276 | | 21業種合計 | 42,678 | | 21業種合計 | 45,975 | | 0.90 |

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～発電機、TV が大幅増加、通信機械部分品、産業用ロボット等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①北米向け**発電機**(86.5%増)、②北米、EU、中国向け**TV**(39.0%増)、③EU 向け**鉄道車両**(33.9%増)、④北米向け**航空機部品**(32.4%増)、⑤ASEAN・南アジア、中国向け**原動力機械**(30.3%増)、⑥北米、EU、中国向け**陸用内燃機関**(28.2%増)、⑦その他地域向け**船舶**(25.0%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア向け**金属加工機械**(19.8%増)、⑨北米向け**建設機械**(18.3%増)、⑩中国向け**コンデンサー等部分品**(16.1%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、通信機械部分品(39.1%減)、産業用ロボット(17.9%減)等であった。

図表 12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

| 2018/8 | | | 2018/9 | | | 2018/10 | | |
|-------------|-------|--------|--------|-------|-------|------------|-------|--------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 |
| 鉄道車両 | 227 | 241.4 | 陸用内燃機関 | 449 | 12.8 | 発電機 | 94 | 86.5 |
| 原動力機械 | 474 | 56.5 | 船舶 | 1,362 | 11.5 | TV | 130 | 39.0 |
| 船舶 | 1,436 | 37.3 | 時計 | 97 | 11.4 | 鉄道車両 | 151 | 33.9 |
| 半導体製造装置 | 2,538 | 34.3 | 工作機械 | 854 | 10.7 | 航空機部品 | 953 | 32.4 |
| 建設機械 | 1,222 | 28.4 | 機種合計 | 2,762 | *6.4% | 原動力機械 | 426 | 30.3 |
| 陸用内燃機関 | 432 | 20.2 | | | | 陸用内燃機関 | 501 | 28.2 |
| 磁気カード・ディスク等 | 143 | 13.4 | | | | 船舶 | 1,445 | 25.0 |
| 電気・電子計測器 | 439 | 12.6 | | | | 金属加工機械 | 286 | 19.8 |
| 電動機 | 180 | 11.5 | | | | 建設機械 | 1,392 | 18.3 |
| その他の配電制御装置 | 1,055 | 10.6 | | | | コンデンサー等部分品 | 1,037 | 16.1 |
| 機種合計 | 8,146 | *18.9% | | | | 機種合計 | 6,415 | *13.8% |

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

| 2018/8 | | | 2018/9 | | | 2018/10 | | |
|----------|-----|--------|---------------|-------|--------|----------|-----|--------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 |
| 通信機械部分品 | 246 | ▲ 29.6 | 通信機械部分品 | 271 | ▲ 35.5 | 通信機械部分品 | 260 | ▲ 39.1 |
| 産業用ロボット | 162 | ▲ 15.9 | 原動力機械 | 321 | ▲ 33.5 | 産業用ロボット | 191 | ▲ 17.9 |
| 金属加工機械 | 242 | ▲ 12.2 | 発電機 | 64 | ▲ 30.1 | デジカメ・ビデオ | 287 | ▲ 15.7 |
| デジカメ・ビデオ | 263 | ▲ 11.6 | 受信変換その他送受信機器 | 96 | ▲ 28.9 | 機種合計 | 738 | * 1.6% |
| 機種合計 | 913 | * 2.1% | 産業用ロボット | 173 | ▲ 21.6 | | | |
| | | | 携帯電話 | 27 | ▲ 17.5 | | | |
| | | | 貨物自動車 | 720 | ▲ 16.5 | | | |
| | | | 繊維機械 | 176 | ▲ 16.2 | | | |
| | | | その他の重電気機器・部分品 | 471 | ▲ 14.3 | | | |
| | | | 建設機械 | 1,101 | ▲ 12.4 | | | |
| | | | 機種合計 | 3,420 | * 7.8% | | | |

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、電子デバイス等がプラス、乗用車がマイナス～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は15.0%増と再びプラスとなった。上位12機種のうち11機種がプラスとなり、そのうち電子デバイス(12.9%増)、航空機・部品等(51.3%増)、自動車部品(13.0%増)等8機種が二桁以上のプラスであった。マイナスとなったのは、乗用車(9.7%減)の1機種のみであった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、医療機械、白物家電、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TVの9機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(12.9%増)、ASEAN・南アジア(14.1%増)、EU(16.9%増)、北米(26.3%増)、韓国・台湾(12.7%増)、その他地域(7.6%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

| 2018/8 | | | | 2018/9 | | | | 2018/10 | | | |
|------------|--------|-------|------|------------|--------|--------|------|------------|--------|-------|------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア | 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア | 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア |
| 電子デバイス | 2,270 | ▲ 4.1 | 10.8 | 電子デバイス | 2,323 | ▲ 5.6 | 11.2 | 携帯電話 | 2,852 | 5.8 | 11.6 |
| 電子計算機 | 1,819 | 1.6 | 8.7 | 携帯電話 | 2,172 | 28.9 | 10.5 | 電子デバイス | 2,787 | 12.9 | 11.3 |
| 航空機・部品等 | 1,739 | 86.1 | 8.3 | 電子計算機 | 1,648 | ▲ 13.5 | 8.0 | 電子計算機 | 1,891 | 4.3 | 7.7 |
| 自動車部品 | 1,147 | 0.9 | 5.5 | 乗用車 | 1,233 | 15.5 | 6.0 | 航空機・部品等 | 1,505 | 51.3 | 6.1 |
| 乗用車 | 1,089 | ▲ 7.1 | 5.2 | 自動車部品 | 1,196 | ▲ 2.0 | 5.8 | 自動車部品 | 1,426 | 13.0 | 5.8 |
| 携帯電話 | 1,029 | 91.2 | 4.9 | 航空機・部品等 | 1,017 | ▲ 18.4 | 4.9 | 乗用車 | 949 | ▲ 9.7 | 3.9 |
| 白物家電 | 734 | 13.8 | 3.5 | 白物家電 | 640 | 7.9 | 3.1 | 医療機械 | 794 | 16.3 | 3.2 |
| 医療機械 | 644 | ▲ 2.0 | 3.1 | 医療機械 | 629 | ▲ 7.9 | 3.0 | 白物家電 | 750 | 14.8 | 3.0 |
| 受信変換その他送受信 | 633 | 8.7 | 3.0 | 半導体製造装置 | 618 | 127.9 | 3.0 | 配電機器 | 678 | 10.5 | 2.8 |
| 配電機器 | 598 | 5.8 | 2.9 | 配電機器 | 563 | 1.5 | 2.7 | 受信変換その他送受信 | 675 | 22.8 | 2.7 |
| 半導体製造装置 | 578 | 51.9 | 2.8 | 受信変換その他送受信 | 536 | ▲ 5.9 | 2.6 | 半導体製造装置 | 497 | 272.0 | 2.0 |
| コンデンサー等部分品 | 404 | 6.9 | 1.9 | その他の配電制御装置 | 377 | ▲ 12.3 | 1.8 | その他の配電制御装置 | 444 | 7.3 | 1.8 |
| 12機種合計 | 12,684 | | 60.6 | 12機種合計 | 12,952 | | 62.6 | 12機種合計 | 15,248 | | 62.0 |

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等